

明治・大正期の科学思想史



[明治・大正期の科学思想史_下载链接1](#)

著者:金森 修

出版者:勁草書房

出版时间:2017-8

装帧:平装

isbn:9784326102617

作者介绍:

金森 修(かなもり おさむ)

1954年札幌生まれ. 東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学.
博士(哲学・パリ第一大学). 筑波大学講師, 東京水産大学助教授などを経て,
東京大学大学院教育学研究科教授. 専門は, フランス哲学, 科学思想史, 生命倫理学.
著書に『バシュラール』(講談社, 1996年),
『サイエンス・ウォーズ』(東京大学出版会, 2000年: 新装版, 2014年),
『科学的思考の考古学』(人文書院, 2004年), 『〈生政治〉の哲学』(ミネルヴァ書房,
2010年), 『科学の危機』(集英社, 2015年), 『知識の政治学』(せりか書房, 2015年),
『科学思想史の哲学』(岩波書店, 2015年)他. 2016年5月, 逝去.

目録: 序章

第1章 国民と実学—「啓蒙」と「戯作」の交点

第2章 山川健次郎の科学思想と尚武主義—物理学・社会学・富国強兵

第3章 横井時敬の農学

第4章 明治・大正期の地理的知—朝鮮半島の地誌と旅行記をめぐって

第5章 宇宙と国粋—三宅雪嶺のコスミズム

第6章 帝國大學と精神病学と精神病者—明治・大正期における精神病治療思想の系譜

第7章 天変地異をめぐる科学思想—関東大震災と科学啓蒙者たちを中心に

第8章 千里眼は科学の分析対象たり得るか—心理学の境界線をめぐる闘争

・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[明治・大正期の科学思想史_ダウンロード1](#)

标签

科学史

日本

评论

[明治・大正期の科学思想史_ダウンロード1](#)

书评

[明治・大正期の科学思想史_ダウンロード1](#)